

授業概要

科目名	臨床工学演習Ⅱ②			授業の種類	演習	講師名	
授業回数	30 回	時間数	60 時間 2 単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	3年 前期
【授業の目的・ねらい】 臨床実習に臨むにあたり、必要となってくる人体と病態や臨床工学をより深く理解する。							
【実務者経験】 臨床工学技士として姫路聖マリア病院にて、医療機器管理業務をはじめ、手術室業務・血液浄化業務・救急医療などに従事経験。							
【授業全体の内容の概要】 人体と病態・臨床工学をより深く理解し臨床現場で活かせる知識・技術を身につける事を目的とし、実習及び座学形式にて理解を深めていく。また、クラス内で逐次、お互いの知識・技術を共有していく事でさらに理解を深めていく。							
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・人体と病態・臨床工学をより深く関連付けれるようになる。 ・臨床実習に臨むにあたり、必要な知識や技術・態度を身につける。							
回数	講義内容						準備物(教材)
16	生体情報モニタ①						
17	生体情報モニタ②						
18	生体情報モニタ③						
19	補助循環の実際①						
20	補助循環の実際②						
21	補助循環の実際③						
22	透析、ICUの実際①						
23	透析、ICUの実際②						
24	透析、ICUの実際③						
25	まとめ						
26	まとめ						
27	まとめ						
28	まとめ						
29	まとめ						
30	まとめ						
	定期筆記試験						
【使用教科書・教材・参考書】 臨床工学技士標準テキスト							
【準備学習・時間外学習】 ・臨床実習に臨むにあたり、現在までの学びを総合的に復習しておくこと							
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 提出物評価40点、OSCE試験60として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。							

授業概要

科目名	臨床工学演習Ⅱ①					授業の種類	演習	講師名				
授業回数	30	回	時間数	60	時間	2	単位	必修・選択	必修	配当学年 時期	3年	前期
【授業の目的・ねらい】 臨床実習に臨むにあたり、必要となってくる人体と病態や臨床工学をより深く理解する。												
【実務者経験】 臨床工学技士として姫路聖マリア病院にて、医療機器管理業務をはじめ、手術室業務・血液浄化業務・救急医療などに従事経験。												
【授業全体の内容の概要】 人体と病態・臨床工学をより深く理解し臨床現場で活かせる知識・技術を身につける事を目的とし、実習及び座学形式にて理解を深めていく。また、クラス内で逐次、お互いの知識・技術を共有していく事でさらに理解を深めていく。												
【授業終了時の達成課題（到達目標）】 ・人体と病態・臨床工学をより深く関連付けれるようになる。 ・臨床実習に臨むにあたり、必要な知識や技術・態度を身につける。												
回数	講義内容										準備物(教材)	
1	感染対策①											
2	感染対策②											
3	感染対策③											
4	輸液機器の使用方法①											
5	輸液機器の使用方法②											
6	輸液機器の使用方法③											
7	透析治療の実際①											
8	透析治療の実際②											
9	透析治療の実際③											
10	医療機器管理の実際①											
11	医療機器管理の実際②											
12	医療機器管理の実際③											
13	人工呼吸器管理の実際①											
14	人工呼吸器管理の実際②											
15	人工呼吸器管理の実際③											
	定期筆記試験											
【使用教科書・教材・参考書】 臨床工学技士標準テキスト												
【準備学習・時間外学習】 ・臨床実習に臨むにあたり、現在までの学びを総合的に復習しておくこと												
【単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など）】 試験の結果を100点満点として成績を評価する。 提出物評価40点、OSCE試験60として合計100点とする。 60点以上の場合に科目を認定する。												